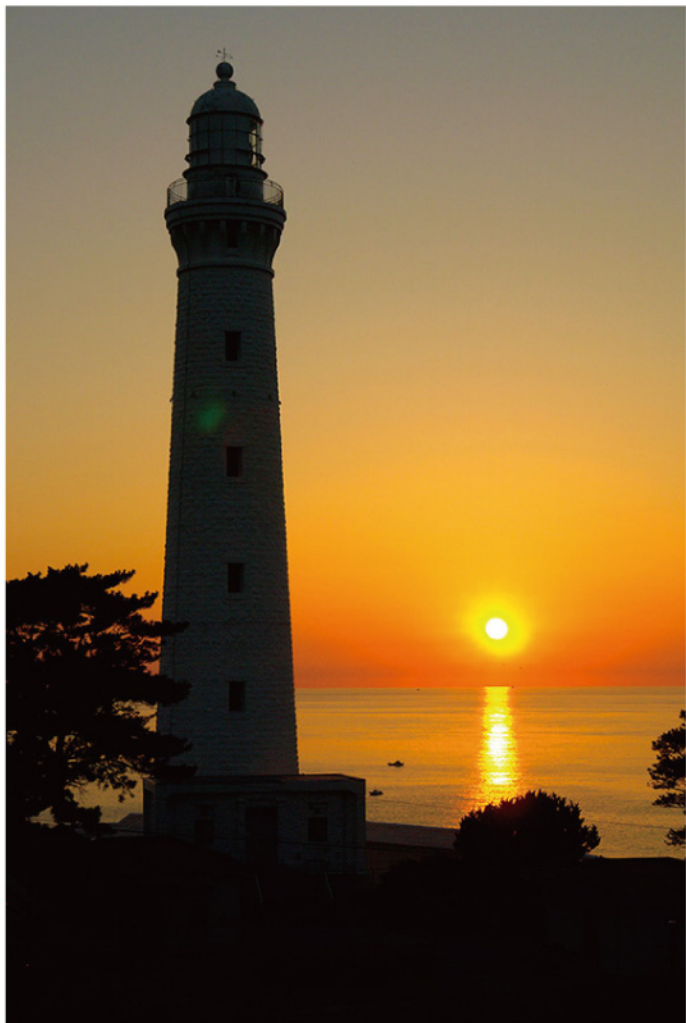


● 日が沈む聖地出雲

出雲市大社町にある「稲佐の浜（いなさのはま）」と「日御碕（ひのみさき）」は、夕日にまつわるストーリー『日が沈む聖地出雲』として、日本遺産に認定されています。

稲佐の浜にある“弁天島”は、私が子供の頃は、海の中に浮かぶ島で、潮の流れもあり危険な島だと思っていましたが、今では、大量の砂に囲まれてしまい、歩いて近づけるほどになっています。

この弁天島から見る夕日はまさに絶景です。なかでも「国引き神話」「国譲り神話」の舞台となった「稲佐の浜」はパワースポットとしても知られ、夕暮れ時には美しい海岸線に加え紅に染まる空、水平線に沈む夕日、自然が織りなす大パノラマを体感できます。



出雲日御碕灯台の夕暮れ



稲佐の浜と弁天島



弁天島と夕日（稲佐の浜）

島根半島の北西端に位置する日御碕もまた夕日が美しい岬。日御碕のシンボル、白亜の灯台「出雲日御碕灯台」はそのシルエットが夕暮れの美しさを引き立て、落日とのコントラストは幻想的ではばし時を忘れてしまいます。

出雲は字のごとく、くも（雲）いずる（出）国と書きますが、雲が多いながらも水平線に沈む夕日は幻想的です。

この綺麗な海岸も私たちのふるさとです。環境に取り組む会社として、ふるさとをこれからも綺麗にし、守り続けたいと思います。